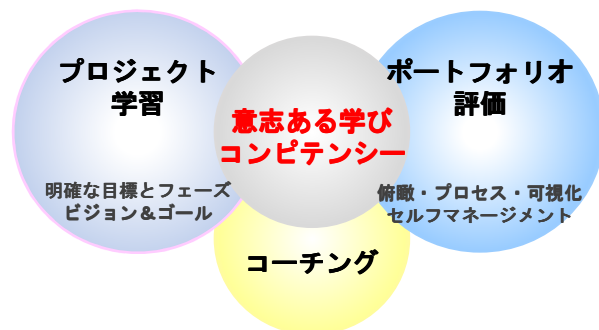


# 意志ある学びを叶える プロジェクト学習とポートフォリオ — 理論と実践 —



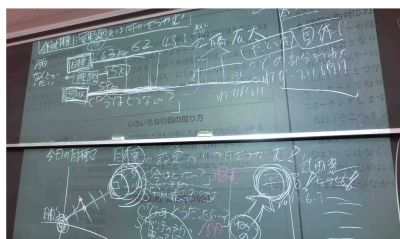
鈴木 敏恵

シンクタンク未来教育ビジョン 代表

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 講義のはじめに

### プロジェクト学習とポートフォリオの説明

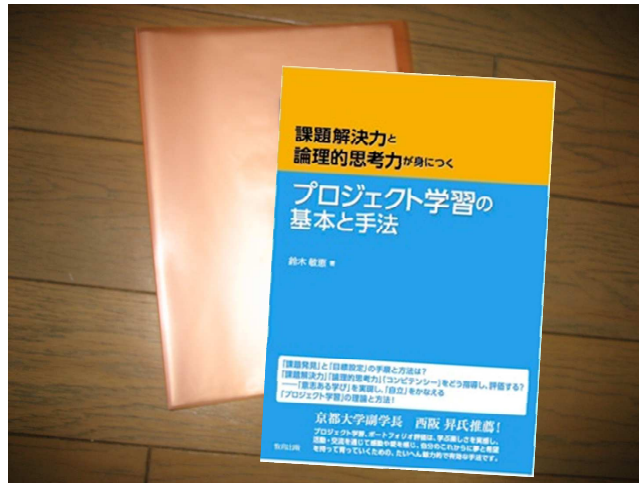


○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## プロジェクト学習とは何かを理解する

「ポートフォリオ用ファイル」とテキスト「プロジェクト学習の基本と手法」

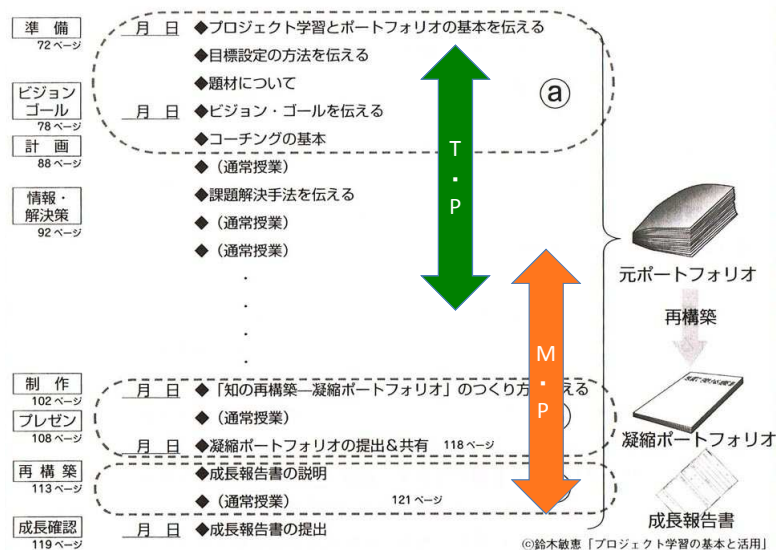
著作：鈴木敏恵 出版：教育出版



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 講義俯瞰

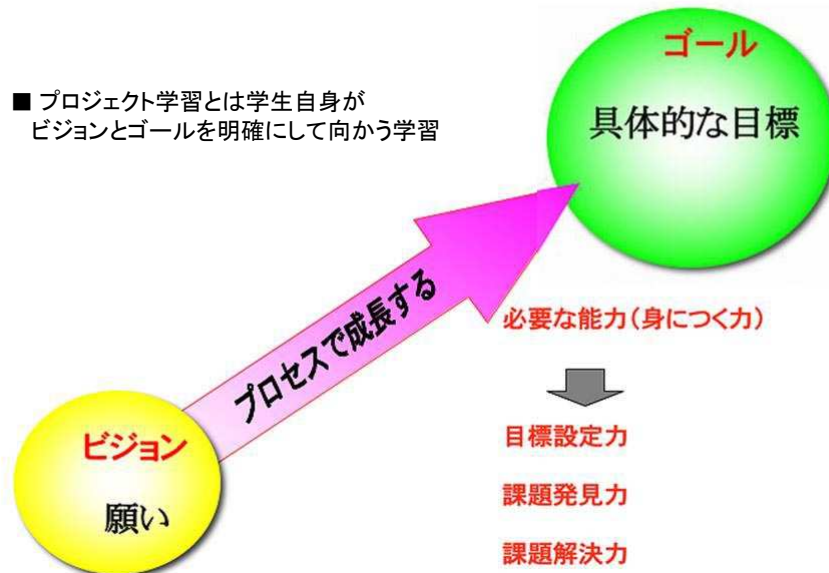
### プロジェクト学習を導入した授業の流れ（例）



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## プロジェクト学習とは何かを理解する

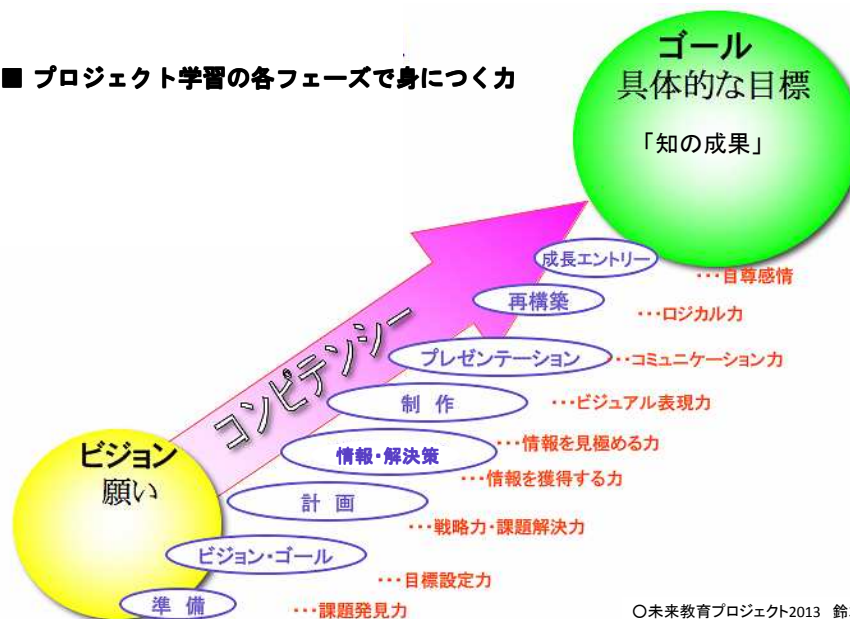
- プロジェクト学習とは学生自身が  
ビジョンとゴールを明確にして向かう学習



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## プロジェクト学習とは何かを理解する

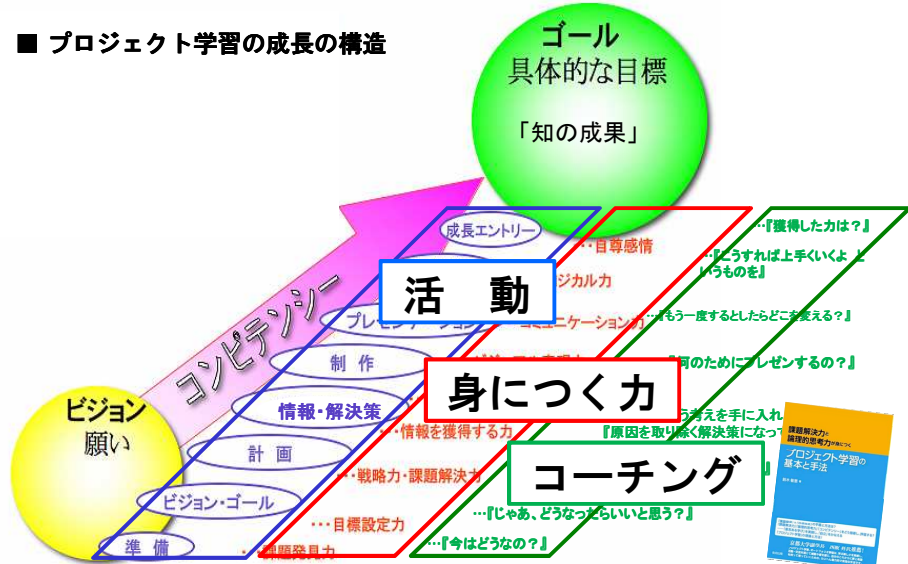
- プロジェクト学習の各フェーズで身につく力



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

# プロジェクト学習とは何かを理解する

## ■ プロジェクト学習の成長の構造

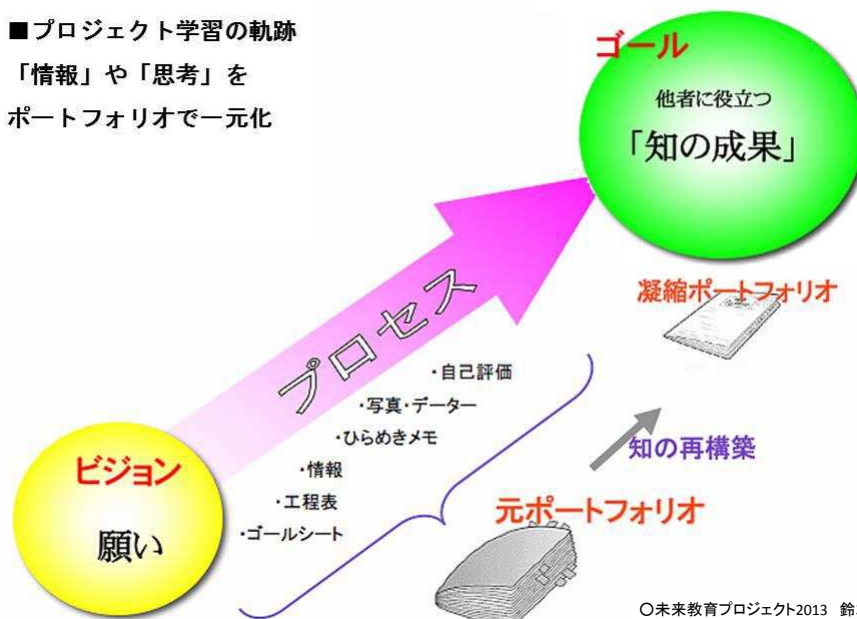


○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

# プロジェクト学習とは何かを理解する

## ■ プロジェクト学習の軌跡

「情報」や「思考」を  
ポートフォリオで一元化



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## プロジェクト学習とは何かを理解する

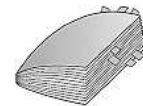
### 学生のコメント

プロジェクト学習を行なうにあたってプロジェクト学習とは何なのか理解できた気がします。何ごとも目的とかないし中身のない反りんだものにならなきゃいけません。最終的に他の人は役立つものになることが自分たちや知識の存在の意味を出してくるのかなと思いました。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## ポートフォリオの機能と活用

### ポートフォリオの意味



- 意味：紙ばさみ・作品集・活動や実績ファイル
- ポートフォリオとはバラバラの「情報を一元化」

### ポートフォリオの価値（成長評価）

- 「情報を一元化」すると価値が生まれる！
- 俯瞰 = プロセス、成果、成長、知の体系化
- 可視化 = 思考特性、能力、実力（コンピテンシー）

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵



# ポートフォリオの機能と活用



# ポートフォリオの機能と活用

## 未来教育—ポートフォリオの種類と目的

ポートフォリオはプロジェクト学習だけでなく、よりよき未来の実現を願うすべての人のすべての状況に機能する。その目的により次の3つに大きくわけることができる。

- 目的
- ・クオリティーの高い成果
  - ・コンピテンシー修得
  - ・目標到達/戦略/自己評価
- 対応領域
- ・一般教科/総合学習
  - ・プロジェクト学習
  - ・体験学習
  - ・臨床研修/現場実習
  - ・継続教育
  - ・目標管理
  - ・クリニカルラダー
  - ・認定看護師

### パーソナル ポートフォリオ

入れるモノ：関心・実績

- 目的
- ・自己受容/自尊感情
  - ・キャリアマネジメント
  - ・自己能力のプレゼンテーション

- 対応領域
- ・個性発見/進路設計/進路選択
  - ・採用面接/人事考査
  - ・目標管理
  - ・キャリアパス
  - ・チームビルディング
  - ・臨床研修/認定看護師...etc

### テーマ ポートフォリオ

入れるモノ：仕事・学習

### ライフ ポートフォリオ

入れるモノ：体・健康

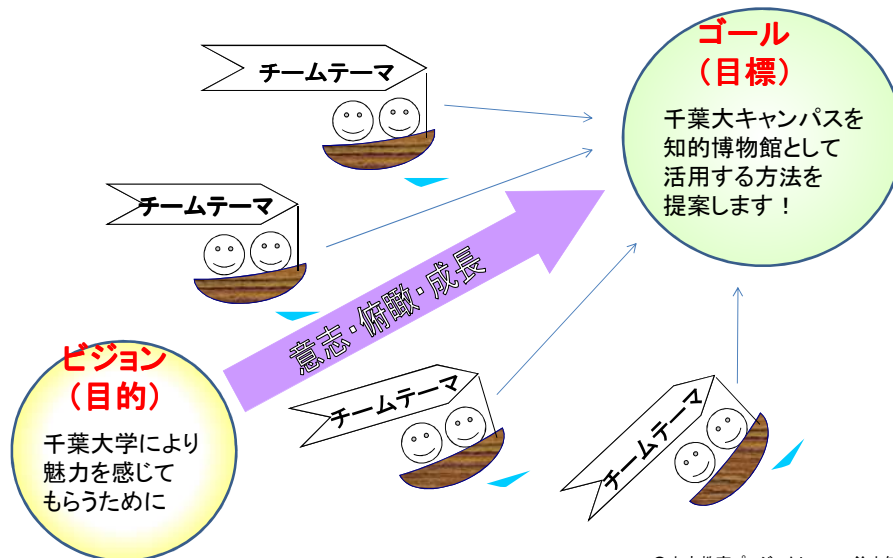
- 目的
- ・自立
  - ・セルフマネジメント
  - ・健康管理/生活改善
- 対応領域
- ・生活習慣病(糖尿病...etc)
  - ・医師との情報共有
  - ・チーム医療
  - ・在宅看護...etc

ポートフォリオとは：自らの意志で、自らの成果や自ら手に入れた情報を一元化したもの。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### チームプロジェクト(T・P)のゴールとビジョン



## T・P チームテーマを共有しあう



鈴木敏恵

## T・P プレゼンテーションの製作



©未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## T・P 教室内でのプレゼンテーション



©未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵



## T・P 千葉大学 学長先生にプレゼンテーション



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

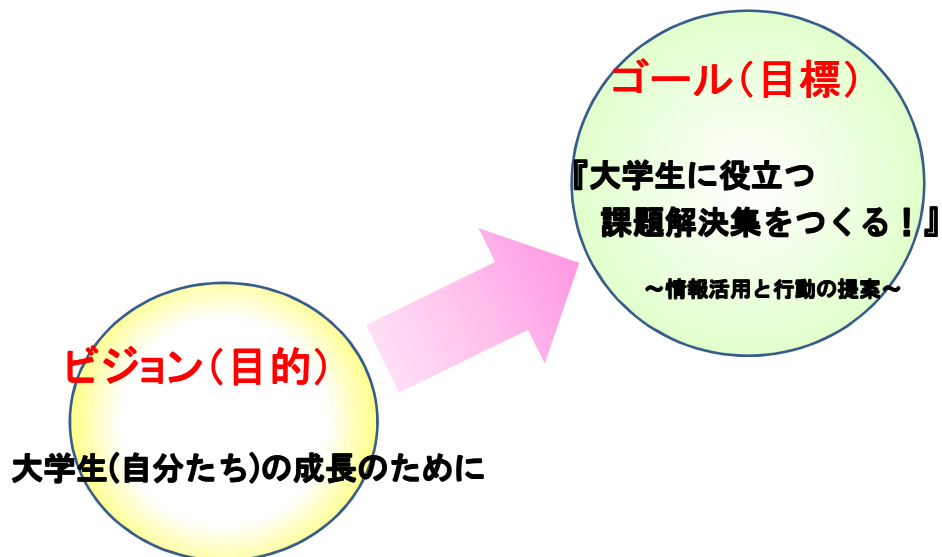
## T・P グッドジョブカードとサンキューカードの交換



3 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

マイプロジェクトのビジョンとゴールを示す



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

一人思考と思考共有

### 目標設定のコーチングを教える

学生のコメント

目標設定を行うに、セルフコーチングをする:により、それが あいまいなものではなく 全体を把握して 情報を取得することにより 明確なものとなり実現可能 となるんですね。

目標を改めて訂正するこができた。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために 一人思考と思考共有

### 学生が自分自身へ「目標設定のセルフコーチング」する

#### 課題解決策を考えだすための方法論



- ① 各自、A4用紙の上部にマイ目標を書く  
それを見ながら、そのためにどうしたらいいのか、その課題解決策を考え出す
- ② オープンコーチング：鈴木敏恵が普遍的コーチングを学生たちへ放つ
- ③ 学生たちは、自分へのコーチングとして受けとめる
- ④ 学生たち、鈴木敏恵のコーチングをメモしてセルフコーチングする
- ⑤ 「一人思考」セルフコーチング  
各自、自分の目標を確認しつつ課題解決を考え出す、セルフコーチング
- ⑥ 「思考共有」互いにコーチング  
ポートフォリオに入れてきた情報を相互に見せつつ。



P93

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために 一人思考と思考共有

### 学生が「目標設定のセルフコーチング」をする

#### 学生のコメント

課題解決のためには 現状や根拠ある情報を  
はききさせ、何が足りなくて何が問題なのか  
を考えなければいけないとわかった。  
今回も他の人の意見が参考になった。  
今日3人で話し合うことで、自分1人では気づけなかったこと  
「そうか!」と思えることを指摘してくれる。  
→Myプロジェクトが明確になってきた。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために 一人思考と思考共有

### 学生同士で「相互コーチング」



No.4-6

「現状」をつかむコーチング

- ☐ それは、今はどうなの？
- ☐ 何が起きているの？
- ☐ それは、本来どうであるべきなの？
- ☐ それは、どこで起きているの？
- ☐ それは、いつ起きているの？
- ☐ そこに誰がいるの（関わっているの）
- ☐ それはなぜ起きたと考える？

課題解決と論理的思考力が身につく  
プロジェクト学習の  
基本とP94～96

「課題解決への発想を」

- ☐ 一般的には（過去には）どう
- ☐ ほかに場所（ケースあるいは
- ☐ どうしてこれまで起きなかっ
- ☐ いまどんな全体をイメージし
- ☐ 似たプロジェクトのいろいろ
- ☐ あなたの考えと異なる情報
- ☐ 同じ問題に対して、ちがう
- ☐ どうすればこ

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために 一人思考と思考共有

### 「課題解決に必要な情報について」コーチングする



P96

#### いろいろな情報の取り方

- ☐ 一般的情報：ネットや書籍など誰もが手に入る基本的な情報、HP 等
- ☐ 固有情報：現地や関係者から手に入る情報、資料、データ
- ☐ 体験的情報：やってみてわかる情報。実験、実体験、触れるなど嗅覚等
- ☐ 継続的情報：定点観測してわかること（環境の変化や人の動き）

- ①一人思考で紙に自分の考えを書く
- ②自分で見て、考える
- ③他者に見せて、客観的に考えを言ってもらう
- ④知の触発：相互コーチングをしている様子

#### 学生が書いたもの

・今自分が知っていること... 680点以上と2  
大増とといえ  
就職に有利  
資格とV字利用

・インターネット、新聞、本からの情報... 広告、  
お宝書、  
TOEIC  
テスト、  
マーズ、  
時間

・現場からの情報... 実際2時間テストを  
45分まで勉強して  
一問にかけられる時間  
それほどの長さを出す

・他の人の意見、考え... 現在下宿院1年の9  
初めに学んだとて  
9人の人から「新

「意味」... 勉強... TOEIC... 勉強

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵



主体的な授業のために 一人思考と思考共有

学生同士で「課題解決に必要な情報」へのコーチングをする

学生のコメント

他の人の意見で ここまで情報が増えるとは思わ  
なかった。他人の意見がこい

現状を知るには、自分だけでは不十分。友達や他人  
からも情報をもらうことが必要。「知の創発」は  
目標に近づくために必要なプロセスだ。

みんなそれぞれ注目しているけれど違う！  
＝人のアドバイスってすごく役に立つ！

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

主体的な授業のために 一人思考と思考共有

学生同士で「課題解決に必要な情報」へのコーチングをする

学生のコメント

他者との関わりは成長に必ず必要!!

目標の達成には情報が必要!

他の人の意見を聞いたり、他の人を参考にする  
ことで 具体的なアイデアが浮かびました。

矢口の倉り登 受け身じゃなく自分で成長する! ことが大  
事。他者との化学反応が大事!

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## アンケート調査と集計



○ 日文の書き方へ ～くずし字・文学に關するアンケート～

文部省 調査 2012/06/07

経典・文壇3編講座「経典実教教育メディア塾」で、様々なテーマに応じたアンケート実施がはじまられています。

ご質問からご意見をいただき、どうかご協力お願いします。～中～

主に、あてはまる事項に○をつけるかお答えをお願いします。

① 学年を教えてください  
 1. 中学 2. 高校 3. 大学 4. その他( )

② どの学を讀みスキルに自信がありますか。  
 1. 自力で読めるようになる  
 ③ 自力では少し難しいが、参加しなるとのがあれば読めるようになる  
 2. 自力ではあまり自信がないが、参加しなるとのがあれば読めるようになる  
 3. 参加しなるとのがあってもあまり自信がない 4. まったく読めない

③ どの学を讀みスキルを、読解力から更に伸ばしたいかあきらめないという必要性を感じていますか。  
 はい いいえ

この学入の理由を簡単に教えてください。  
 例「日本の文化は」「自分の専門にしたいから」「日本語を上手にしたいから」など

④ どの学を讀みスキルが必要とされ文学を今後読読していますか。  
 はい いいえ

次ページからは全て「はい」とお答え方になります。引き続きご協力をお願いします。>

読書目的がタイトルを頼ってほしい読書者の割合は、自分の中で最も大きなつらさをのべているもののおおきいのではない。 例「読書目的は文化」

また、その文学を讀んでほしい

① 1 正 正 正 正 正 ⑩  
 2 正 正 正 正 ⑨  
 3 正 ⑧  
 4 正 正 ⑦  
 5 1 正 正 正 正 ⑥  
 2 正 正 正 正 正 ⑤  
 3 1 ④  
 4 正 正 正 正 ③  
 5 正 正 正 正 正 ②  
 6 正 正 正 正 正 ①

② 1 正 正 正 正 正 ⑩  
 2 正 正 正 正 正 ⑨  
 3 正 ⑧  
 4 正 正 ⑦  
 5 1 正 正 正 正 ⑥  
 2 正 正 正 正 正 ⑤  
 3 正 ④  
 4 正 正 正 正 ③  
 5 正 正 正 正 正 ②  
 6 正 正 正 正 正 ①

③ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

④ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

⑤ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

⑥ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

⑦ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

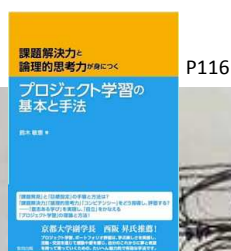
⑧ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

⑨ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

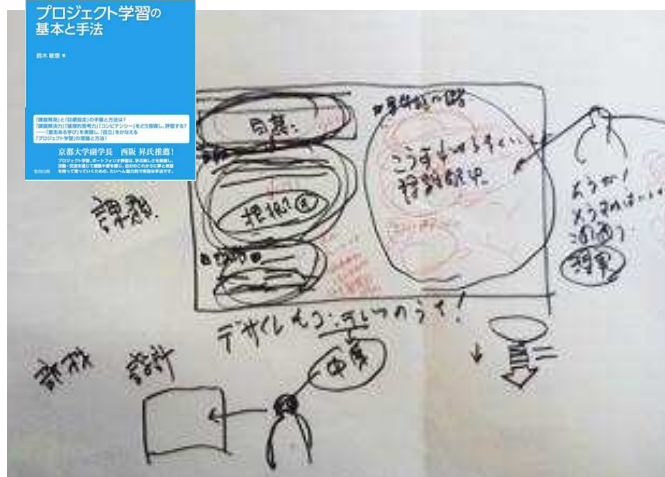
⑩ 1 正 正 ⑩  
 2 正 ⑨  
 3 正 正 ⑧  
 4 正 ⑦  
 5 正 正 正 ⑥  
 6 正 正 正 正 ⑤  
 7 正 正 正 正 正 ④  
 8 正 正 正 正 正 ③  
 9 正 正 正 正 正 ②  
 10 正 正 正 正 正 ①

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 再構築の価値・意図・作成を説明する



P116



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 再構築の価値・意図・作成を説明する

#### 学生のコメント

課題宿ポートフォリオのくわしい書き方があって、ただんてんてん情報の整理について、完成形がイメージできるようにできてきました。

現状や解決方法など(可)においてもとにかく不根拠が大事だということに気づきました。

課題宿ポートフォリオを書きだすにあたって、限られたスペースの中で、必要な情報をどこまでいかに書くべきかには、レイアウトや図表、グラフの形式など情報のまとめ方もよく考えなくてはいいけないので、よく考えて、ベストなものを作りました。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 再構築の価値・意図・作成を説明する

#### 学生のコメント

人と納得させるように解決法を書くのって難しい。→読む人の気持ちになって考える。

矢印や余白をうまくつかうことで分かりやすくなる!

自分が伝えたいこと、文章にするときは、人に難しいとは思わないが、その人の言葉、知識、意見を吸収すると、次の段階に進める。

・実際にレイアウトしてみると、どんな情報が必要で何が足りないのか、感覚的にも現実的にも見える!

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵



## 主体的な授業のために

多数の他者の凝縮ポートフォリオを見て学びとっている様子

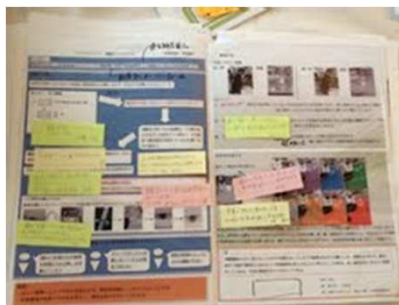


知を獲得する力



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 凝縮ポートフォリオの改善



人を見て.....  
「これ、すごい！取り入れてみよう！」



付箋.....他者から得た学び

・表現力  
・コンテンツ力



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵



主体的な授業のために

## 凝縮ポートフォリオを自己改善

学生のコメント

自分のものと他人のものを比べることで  
もっとこうしよう! とか意見が出てくる!

他人の作品を見ることで自分の  
作品の欠点が観えてくる。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

主体的な授業のために

## 凝縮ポートフォリオを自己改善

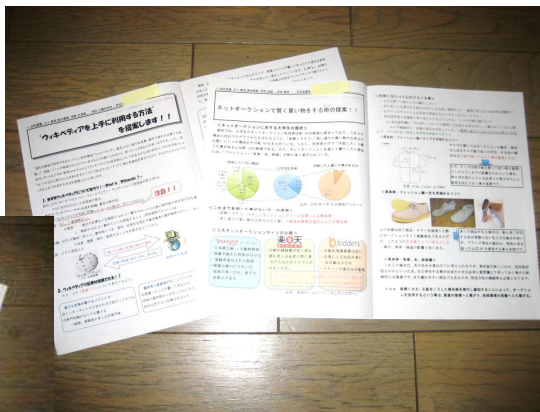
学生のコメント

自分では完成したと思った凝縮ポートフォリオ  
ですが、他の人を見て まだまだ改良の余地  
はあるなと強く感じました。  
もっと見やすく、色やレイアウトに気をつけたいです。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 凝縮ポートフォリオの表紙と中身



○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 凝縮ポートフォリオで一人ひとりプレゼンテーション



知のアウトカム 知の獲得、共有

#### ● プレゼンターとして身につく力

簡潔にわかりやすく伝える力。それはスキルではなくコンテンツ、その構成ゆえに事前に…自分のプレゼンテーションの紙面表現を見て、最初にテーマを見て、この約束を果たす内容を伝えるためには、ここだけは！を俯瞰して、印をつける。現状、課題性、具体的な解決策と、一つひとつの考えのかたまりごとに、収斂させ、構成していく。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 凝縮ポートフォリオで一人ひとりプレゼンテーション

すべてのものはもっとよくなる。



#### ● オーディエンスとしての知的作業

聞きながら自己の成果をさらにクオリティアップする方法を考え出す  
役立つことを獲得し手元のA4用紙に箇条書きしていきます。  
他者から学べる力、また即時のメモ力

#### ● 身につく力

自ら知を獲得できる力、それにより、自分の生んだ成果をさらによくできる力

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 凝縮ポートフォリオで一人ひとりプレゼンテーション

#### 学生のコメント

他の人の発表を聞いて、自分のポートフォリオ発表の  
仕方と比較して考えることができた。改善してい  
きたい。

プレゼンの発表の仕方がまだ甘いので、  
もう少し、自分の頭とポートフォリオの中身を  
全て合致させるように努力したい。

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 総括的評価



#### ●総括的評価

- (1) 凝縮ポートフォリオ
- (2) 凝縮ポートフォリオの改善前
- (3) 成長報告書
- (4) ポートフォリオ軌跡シート

[氏名]	伝えた ことが 明確	評価チェックA: 論理的思考			
		展開が ふれず に組み 立てら れている	概念 図、グラ フなどビ ジュアル 表現の 工夫	わかり やすい 表現・構 造な文 章、収 束性	客観的 に役に 立つ内 容か
山田 太郎	4	2	3	2	4
山田 太郎	3	2	2	5	3
山田 太郎	4	3	3	2	4
山田 太郎	4	3	4	4	3
山田 太郎	5	4	5	4	4
山田 太郎	2	2	2	3	2
山田 太郎	4	3	2	2	4
山田 太郎	4	2	3	2	4
山田 太郎	3	3	3	2	4
山田 太郎	4	3	2	2	3
山田 太郎	3	3	3	2	3
山田 太郎	4	4	5	4	3



P63～P67

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 「凝縮ポートフォリオ」



論知的思考

自らの考えを  
簡潔に述べる力

身に付く力

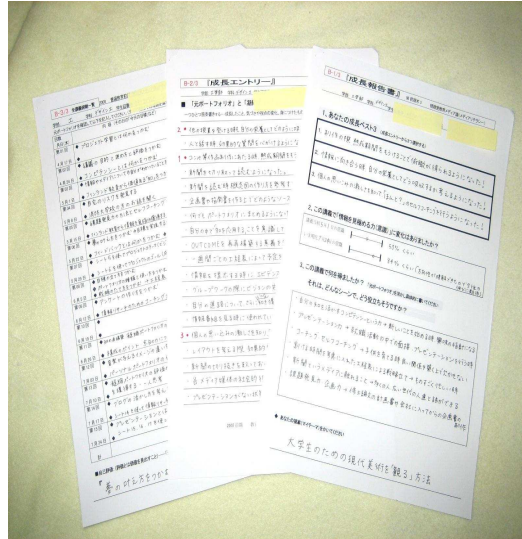
↓  
コンピテンシー

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵



## 主体的な授業のために

### 「成長報告書(自己評価、記入)」



自尊感情  
自己効力感  
メタ認知  
達成感  
自身

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

## 主体的な授業のために

### 「ポートフォリオ軌跡シート」



俯瞰

「課題解決プロセス」  
を見ることができる

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵

与えられた学び から 意志ある学びへ…

鈴木 敏恵

シンクタンク未来教育ビジョン 代表  
一級建築士 (Architect/設計思想) 教育設計者  
日本赤十字秋田看護大学大学院非常勤講師

公職歴: 内閣府中央防災会議専門委員  
千葉大学教育学部特命教授  
政策審議会気象分科会臨時委員 国土交通省気象庁  
総務省消防大学校幹部科 講師

[http://www.suzuki-toshie.net/  
s-toshie@ca2.so-net.ne.jp](http://www.suzuki-toshie.net/s-toshie@ca2.so-net.ne.jp)

○未来教育プロジェクト2013 鈴木敏恵